

こんばんは。北大生協学生委員会です！

9月に入り、札幌は少し暑さも落ち着いて過ごしやすくなった気がします。皆さんの住んでいるところはどうでしょうか？

さて、今回お届けする内容は「北大1年生の1学期の振り返り」です。

■□■北大1年生の1学期の振り返り

ここでは、1学期を振り返って面白かった授業や印象的だったことを紹介します！

○きなり（文学部）の1学期の振り返り

・授業編

大学は高校の時とは違い、自分で時間割を組むので、毎日朝から夕方まで学校にいるということはありません。私は、1学期には毎日2～3コマ分の授業を受けていました！

受けてきた中でも楽しかったなあと思った授業をいくつか紹介します。

■「現代社会の倫理」

この授業は、マイケル・サンデル教授著の「これからの『正義』の話をしてしよう」という本をテキストにした授業です。各授業で、1章ずつ取り上げ、本で取り上げられた哲学に関する問題についてディスカッションをします。毎回レポートを書き、ディスカッションの準備をしなければならないのでかなり大変でした。しかし、簡単に答えの出ない問いについて考えたり、ディスカッションを進行したりする力がついたと思います。

■「英語演習：物議を醸すアメリカの童話を読む」

この授業は、アメリカの絵本を、文章が隠された状態で、絵だけをヒントにどんなお話なのか考えて自分で文章を書いた後に、実際の絵本と比べて読んでみるという授業です。絵だけでお話を想像するので、ライティングの力だけではなく想像力も身につきます！また取り上げられる絵本は、アメリカの黒人差別や、アジア系への差別、先住民差別などを扱っているので、子ども向けですが、とても考えさせられます。

■「私たちの世界～セックス・ジェンダー・セクシュアリティを考える～」

これはいわゆるジェンダー論の授業です。オムニバス形式で行われ、文学部や教育学部、理学部、医学部、または実際に活動をされている方など、幅広い分野の先生が来て、各分野と「ジェンダー」との関連について授業します。生物など理系分野のお話を聞けたり、理系の学生と関わる機会ができたので視野が広がりました！

・生活編

私は道外出身なので、大学生になったこの春から学生会館で一人暮らしを始めました。洗濯など家事を自分でやらなければいけない、という手間はありますが、やはり一人暮らしは

自由度も高く、とても楽しいです。学生会館にもよりますが、学生会館の中で友人ができることも多く、遅くまでおしゃべりをしていることもあります。

入学する前は、友達ができるか不安だったのですが授業やサークル、バイトなどを通して友人や先輩と仲良くなりました。色々なコミュニティを持てるのも、高校の時とは少し違うなど感じます。北大は全国から学生が集まるので、カルチャーショックばかりで毎日刺激的です笑

また、行動範囲が広がるのも大学生ならではのかもしれません。すでに免許を取っている人もいますし、免許がなくても遠出をしたり、旅行をしたりする人も多いです。私も、東北が好きなのでGWに東北旅行に行きました！二学期もどこか旅したいなあと思っています。

〇ちゅーご(総合理系)の1学期の振り返り

・授業編

高校生の時は65分授業でしたが、大学は90分授業なので、最初から最後まで集中するのが大変でした。自分が1学期に受けた授業の中で、面白かった授業を2つ紹介します。

■「海を探る～海洋科学への招待～」

この授業は、水産学部の教員の方々が担当していて、名前の通り様々な視点から海を探っていく授業です。テーマが1,2週間ごとに変わり、それと同時に担当教員も変わるので様々な話を聞くことが出来ます。特に面白かったテーマは、「魚を取るための新技術」です。近年、対象としていない生物を漁獲してしまう「混獲」が問題になっています。この問題を解決する新技術がエビトロールと呼ばれるものです。ソーティング・グリッドという道具によって、対象としていない生物を逃がすことができます。他にも、数値シミュレーションや画像処理を用いた海の探索などについての授業もありました。水産学部に興味がある人や単純に海が好きな人におすすめです！

■「ブラドボク～都市と社会基盤を考える～」

この授業は都市や地域と社会基盤の歴史と未来について、交通や防災、環境、経済、文化、科学技術等の観点から考える授業です。勘の鋭い人は気づいたかもしれませんが、ブラタモリというテレビ番組をなぞらえたものです。この授業も1,2週間ごとにテーマが変わり、それと同時に担当教員も変わります。ラスト2回の授業では今までの授業内容を踏まえて札幌が将来あるべき姿についてグループで話し合い、発表をしました。この授業は主に札幌についての題材を扱うので、札幌のことについて詳しくなることが出来ます。工学部の環境社会学科に興味がある人や、都市が好きな人におすすめです！

北大には一般教養科目や主題別科目、総合科目と呼ばれるものがあり、多くの授業の中から文理に関わらず好きな授業を履修することができます。実際、「ブラドボク～都市と社会基盤を考える～」は文系の人も履修していました。みなさんも入学したら自分の興味のある授業を見つけてみてください！

・生活編

自分も道外出身なので、学生会館で1人暮らしをしています。日曜日以外の朝食と夕食は食堂で食べることができます。いきなり自炊をするのが不安な人や、勉強や部活動、サークルに打ち込むためになるべく多くの時間を確保したい人などに学生会館はおすすめです。

1学期は、勉強にもしっかり取り組みましたが、それと同じくらい学生委員会とサークルにも熱心に取り組みました。サークルでは、高校までとは異なるスポーツを始めたので、上手くなれるように練習を頑張っています。学生委員会では、みなさんのような受験生を支えるという目標を持って頑張っています。まだまだ未熟な部分が多く、先輩や友達に助けられてばかりです（笑）。もっとみなさんの役に立てるように、2学期も頑張ります！

■□■今日の写真……………

今日の写真は、「授業を受ける大講堂」と「おすすめの本：かがみの孤城」です！

授業を受ける大講堂

https://drive.google.com/file/d/1cCr9pqjDVVKcj9-3_jpEut0-quXaSUDp/view?usp=sharing

おすすめの本：かがみの孤城

<https://drive.google.com/file/d/1a646VX2M4m9xvfgaWYVPwzlxQxB2i3k4/view?usp=sharing>

■□■今日の問題……………

「英熟語は覚えたんだけど、後ろに続く動詞の形なんだっけ？」ってなることないですか？
そこで、今日のテーマは『続く動詞の形は「to～」or「～ing」』です。
問題の（ ）の中には「to～」か「～ing」のどちらかが入ります。

1. forget () : ～することを忘れる
2. feel like () : ～したい気がする
3. be apt () : ～しがちである
4. have difficulty () : ～するのに苦労する
5. be worth () : ～する価値がある

1. forget () は「to～」が続くときも「～ing」が続くときもあります。
それぞれで訳が異なるので注意してください！

…………▶▶前回の解答

1. 魅力
2. 稀有(希有)
3. 頓挫
4. 真摯
5. 誇(り)
6. 弊害
7. 摩擦

.....

次の配信は「模試の休憩時間の活用法」「模試の際の志望校の書き方」です。お楽しみに！

■□■今週のブログ.....

ブログを更新しました！「北大生の生活の様子」です！ぜひご覧ください！

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/blog-entry-1118.html>

■□■追伸.....

入学してからもう4ヶ月も経ってたんですね……改めて時が経つ早さにびっくりしました。気づいたら卒業してそうです。（文・1・きなり）

8月25日に前期の成績が発表されました！2年次以降の選択肢を増やせるように後期も頑張りたいと思います！（総理・1・ちゅーご）

○バックナンバーはこちらから

<https://hokudai-coop-gi.com/mail/mail.html>

○配信停止はこちらから

%url/https:out:ouen23stop%

○北大生協学生委員会のブログはこちらから

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/?cat=22>

○質問等はこちらまで

北大生協学生組織委員会

jukensei_ouen@coop.hokudai.ac.jp
